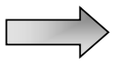
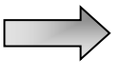
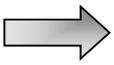
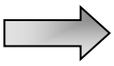
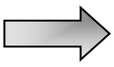
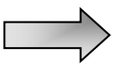
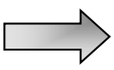
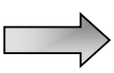
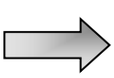
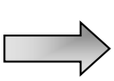
2026年10月29日
三十三総研　調査部

# 三重県経済の現状と見通し＜2026年10月＞

## 1．景気判断 一覧表

| 部門 | 個別項目 | 水準評価 ※1 | 基調判断（前月比較）※2 | 詳細 |
|---|---|---|---|---|
| 総括判断 | 景気の現状 |  |  | **持ち直しの動きがみられる**<br>企業活動などを中心に、持ち直しの動きがみられる。 |
| 家計部門 | 個人消費 |  |  | **減速傾向にある**<br>勤労者世帯・消費支出は、8か月ぶりの前年比増加 |
| | 住宅投資 |  |  | **持ち直しの兆し**<br>住宅着工戸数は、5か月連続の前年比増加 |
| | 観光 |  |  | **回復が一服**<br>外国人宿泊者数は、4か月ぶりの前年比増加 |
| | 雇用・所得 |  |  | **持ち直し傾向が一服**<br>有効求人倍率（季節調整値）は、2か月ぶりの前年比上昇 |
| 企業部門 | 企業活動 |  |  | **拡大している**<br>鉱工業生産指数は、12か月連続の前年比上昇 |
| | 企業倒産 |  |  | **悪化しつつある**<br>倒産件数は、2か月ぶりの前年比減少 |
| | 設備投資 |  |  | **足踏み**<br>民間非居住建築物着工面積は、5か月ぶりの前年比増加 |
| 海外部門 | 輸出 |  |  | **持ち直している**<br>四日市港通関輸出額は、8か月連続の前年比増加 |
| 公共部門 | 公共投資 |  |  | **持ち直しつつある**<br>公共工事請負金額は、2か月ぶりの前年比増加 |
| その他 | 物価 | |  | **伸びが鈍化している**<br>津市消費者物価指数（生鮮食品を除く）は、56か月連続の前年比上昇 |

| 当面の見通し | **物価高や世界経済の不透明感から、景気持ち直しのテンポは弱まる見通し** |
|---|---|
| | 個人消費の回復が期待される一方、中東情勢の不安定化を背景としたエネルギー価格の高騰など世界経済を巡る不透明感は強く、景気持ち直しのテンポは弱まる見通し。 |

※1「水準評価」は、景気全体ならびに個別項目の水準について5段階で判断するもので、
☀：晴、☀|☁：晴～曇、☁：曇、☁|☂：曇～雨、☂：雨、を示す。
※2「基調判断(前月比較)」は、基調判断の表現を前月と比べたもので、
↗：上方修正、⇨：据え置き、↘：下方修正を示す。
（例えば、「回復」→「減速」となれば下方修正、「回復」→「回復」なら据え置き、となる）
したがって、矢印は景気全体ならびに個別項目の方向感を示すものではない。
個別項目の見通しは、特に表記がない場合には先行き半年間程度の見通しを示す。


| お問い合わせ先 | 三十三総研 調査部　堤 |
|---|---|
| | 電話：059-354-7102<br>Mail：33ir@33bank.co.jp |

## 2. 個別部門の動向：家計部門

| 個人消費 | 水準評価 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 基調判断 | 前月比較 | ⇨ | 詳細 | 減速傾向にある |

**≪現状≫**

○個人消費は、減速傾向にある。

○個人消費の動向を支出者側からみると、8月の勤労者世帯消費支出（津市）は前年比＋4.0%と8 か月ぶりの増加（図表1）。内訳をみると、教養娯楽（同▲19.3%）が6か月ぶりに減少した一方、食料（同＋14.2%）が10か月連続、交通・通信（同＋32.3%）が3か月ぶりに増加し、全体を押し上げ。

○個人消費の動向を販売者側からみると、8月の大型小売店販売額（百貨店とスーパーの合計額）は、全店ベースが前年比＋1.4%と2か月連続で増加。既存店ベースも同＋1.1%と2か月連続で増加（図表2）。
全店ベースを商品別にみると、飲食料品（同＋1.7%）が2か月連続で増加し、全体を押し上げ。

○9月の新車乗用車販売台数（含む軽）は、7,871台（前年比＋7.2%）となり、前年比で2か月ぶりの増加（図表3）。車種別にみると、普通車(同＋10.3%)は4か月連続、小型車（同＋4.2%）は10か月連続、軽乗用車（同＋5.4%）は2か月ぶりに増加。

**≪見通し≫**

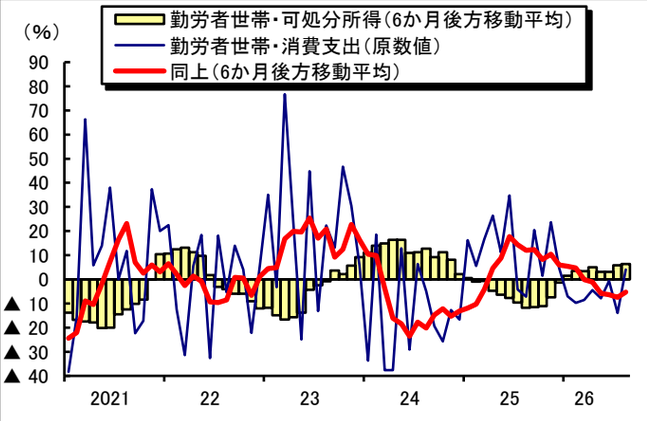
○東海地域の現状判断DI（内閣府「景気ウォッチャー調査」）をみると、9月の家計部門の水準は44.1と好不況の分かれ目となる50を9か月連続で下回った。2～3か月先の先行きに対する判断DIについては、45.9と前月（48.6）から悪化し、好不況の分かれ目の50を7か月連続で下回った。先行き、所得環境の改善や政府による物価抑制策を受け、個人消費は回復する見通し。もっとも、原材料・エネルギー価格高騰に起因するコスト上昇が波及し、様々な品目への値上げ圧力が続くことで、消費意欲を下押しする可能性には注意が必要。

**◆8月 勤労者世帯・消費支出**
- ○ 315千円　前年比 ＋4.0%　（8か月ぶりの増加）

**◆8月 大型小売店販売額**
- ○ 全店　前年比 ＋1.4%　（2か月連続の増加）
- ○ 既存店　前年比 ＋1.1%　（2か月連続の増加）

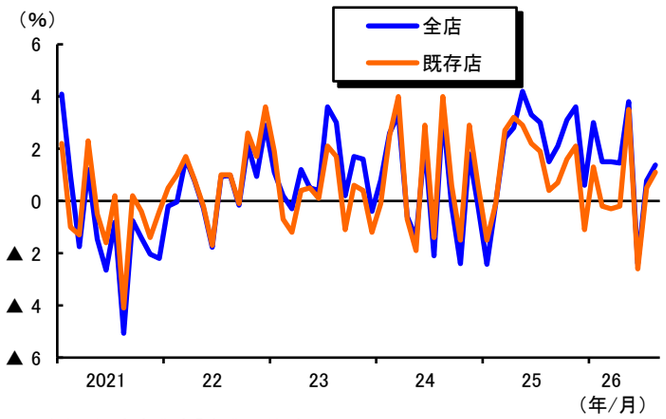
**◆9月 新車乗用車販売台数＜含む軽＞**
- ○ 7,871台　前年比 ＋7.2%　（2か月ぶりの増加）
  - ・普通車　3,259台　前年比 ＋10.3%　（4か月連続の増加）
  - ・小型車　1,432台　前年比 ＋4.2%　（10か月連続の増加）
  - ・軽乗用車　3,180台　前年比 ＋5.4%　（2か月ぶりの増加）

**図表1 津市消費支出等＜前年比＞**



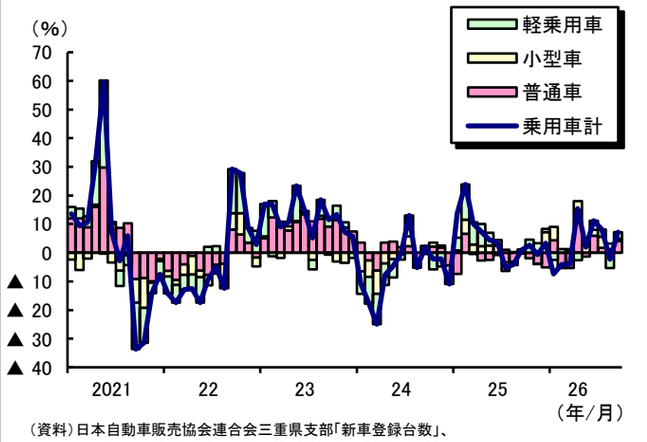

（資料）総務省「家計調査」

**図表2 大型小売店販売額＜前年比＞**




（資料）経済産業省「商業動態統計」

**図表3 新車乗用車販売台数＜前年比＞**




（資料）日本自動車販売協会連合会三重県支部「新車登録台数」、
全国軽自動車協会連合会三重事務所「銘柄・形状別新車月報」

| 住宅投資 | 水準評価 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 基調判断 | 前月比較 | ⇨ | 詳細 | 持ち直しの兆し |

**≪現状≫**

○住宅投資は、持ち直しの兆し。

○8月の住宅着工戸数は、599戸（前年比＋12.2%）となり、5か月連続の増加（図表4）。利用関係別にみると、持家（同＋9.6%）が5か月連続、貸家(同＋10.4%)が3か月連続、給与住宅(同5.0倍)が3か月ぶりに、分譲住宅（同＋17.5%）が4か月連続で増加。

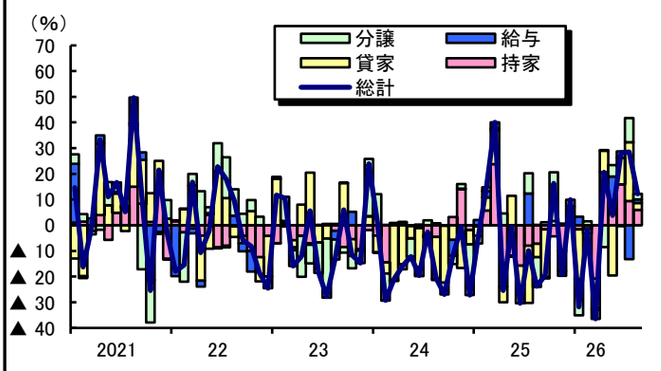
**≪見通し≫**

○先行きは資材価格や人件費の上昇などに起因する住宅価格の上昇、日銀の政策金利の引き上げを受けた住宅ローン金利の上昇懸念を背景に、住宅投資は弱い動きとなる見通し。短期的には、2025年4月の建築基準法・省エネ法の改正により着工戸数が落ち込んだ反動で、前年対比で持ち直していく見込み。

**◆8月 住宅着工戸数**

| | | |
|---|---|---|
| ○ 599戸 | 前年比 ＋12.2% | （5か月連続の増加） |
| ・持家 | 366戸 | |
| | 前年比 ＋9.6% | （5か月連続の増加） |
| ・貸家 | 149戸 | |
| | 前年比 ＋10.4% | （3か月連続の増加） |
| ・給与住宅 | 10戸 | |
| | 前年比 5.0倍 | （3か月ぶりの増加） |
| ・分譲住宅 | 74戸 | |
| | 前年比 ＋17.5% | （4か月連続の増加） |

**図表4 新設住宅着工戸数＜前年比＞**




（資料）国土交通省「建築着工統計」

| 観光 | 水準評価 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 基調判断 | 前月比較 | ⇨ | 詳細 | 回復が一服 |

**≪現状≫**

○観光は、回復が一服している。

○7月の三重県内施設延べ宿泊者数は、766千人泊（前年比▲6.4%）となり、4か月連続の減少（図表5）。外国人宿泊者数は38千人泊（同＋63.1%）と、4か月ぶりの増加。

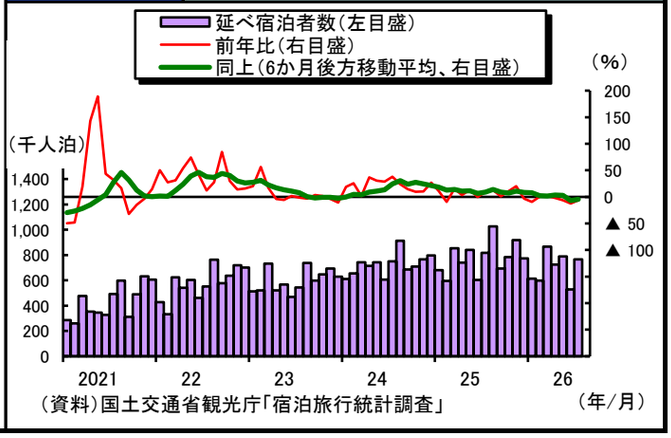
**≪見通し≫**

○三重県は、2035年に外国人宿泊者数を100万人とする目標を掲げた「みえインバウンド誘客計画」を策定。計画では、「観光インフラの充実」「戦略的なマーケティング」「取り組みの充実・継続」の3つを基本戦略とし、台湾、タイ、シンガポール、フランス、ドイツ、米国を重点市場に、インドネシアとインドを開拓市場に設定。

**◆7月 県内施設延べ宿泊者数**

| | | |
|---|---|---|
| ○ 766千人泊 | 前年比 ▲6.4% | （4か月連続の減少） |
| ・外国人 38千人泊 | 前年比 ＋63.1% | （4か月ぶりの増加） |

**図表5 三重県内施設延べ宿泊者数**




（資料）国土交通省観光庁「宿泊旅行統計調査」

| 雇用・所得 | 水準評価 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 基調判断 | 前月比較 | ⇨ | 詳細 | 持ち直し傾向が一服 |

**≪現状≫**

○雇用・所得情勢は、持ち直し傾向が一服。

○8月の有効求人倍率（季節調整値）は、1.20倍（前月差＋0.01ポイント）と2か月ぶりの上昇。新規求人倍率（季節調整値）は、2.11倍（同＋0.08ポイント）と2か月連続の上昇（図表6）。

○8月の新規求人数は、学卒・パートを除くベースで前年比＋10.8%と7か月連続の増加（図表7）。業種別にみると、製造業（同＋11.3%）では、電気機械(同▲44.8%)や食料品（同▲25.7%）等が減少した一方、輸送用機械（同＋75.8%）や生産用機械(同＋22.3%)等が増加。非製造業では、運輸業・郵便業(同▲9.4%)等が減少した一方、卸売業,小売業(同＋33.8%)や医療,福祉(同＋12.7%)等が増加。

○7月の所定外労働時間指数は、前年比＋2.8%と8か月連続の上昇。名目賃金指数（同▲2.3%）は8か月ぶりに低下したものの、きまって支給する給与（同＋4.8%）は37か月連続で上昇（図表8）。

**≪見通し≫**

○三重労働局は、10月１日から三重県最低賃金を1,143円に引き上げることを公示。改正前の1,087円より56円引き上げられ、上昇率は＋5.2%となった。都道府県別では、47都道府県中10位と引き続き高い水準。人手不足感の深刻化を受けて今後も幅広い業種で賃金上昇が期待される。

**◆８月 求人倍率＜季節調整値＞**

○ 有効求人倍率 1.20倍
　前月差 ＋0.01ポイント （2か月ぶりの上昇）
○ 新規求人倍率 2.11倍
　前月差 ＋0.08ポイント （2か月連続の上昇）

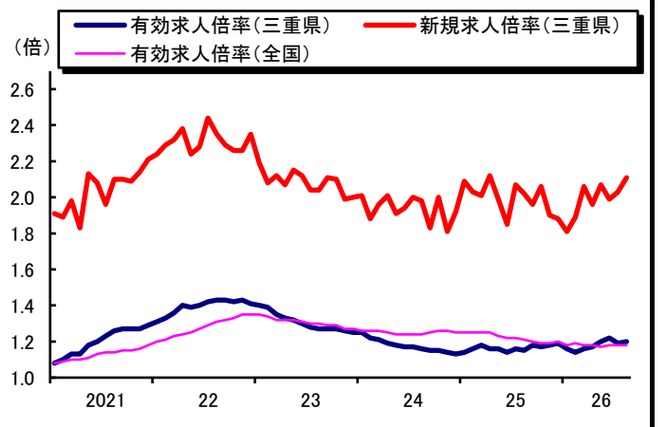
**◆８月 新規求人数＜学卒・パートタイム除く＞**

○ 前年比 ＋10.8% （7か月連続の増加）

**◆７月 労働時間・賃金指数＜調査産業計＞**

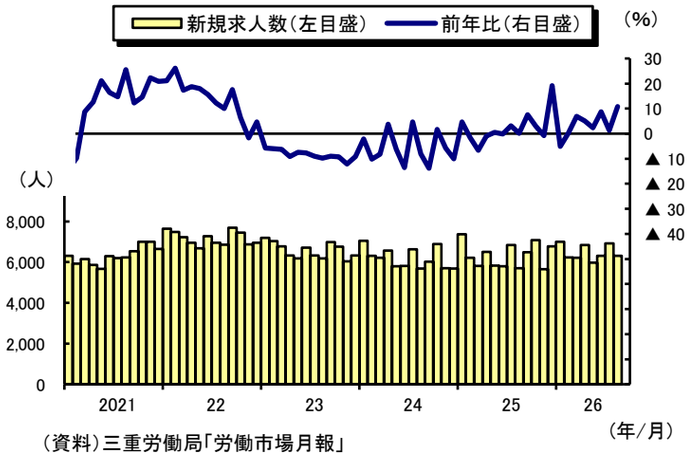
○ 所定外労働時間指数
　前年比 ＋2.8% （8か月連続の上昇）
○ 名目賃金指数
　前年比 ▲2.3% （8か月ぶりの低下）
　・きまって支給する給与
　前年比 ＋4.8% （37か月連続の上昇）

**図表6 有効・新規求人倍率＜季節調整値＞**



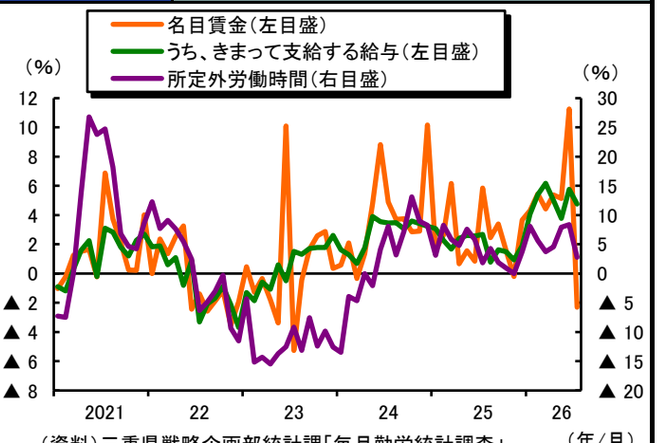

（資料）三重労働局「労働市場月報」

**図表7 新規求人数＜学卒・パート除く＞**




（資料）三重労働局「労働市場月報」

**図表8 労働時間・賃金指数 ＜調査産業計、前年比＞**




（資料）三重県戦略企画部統計課「毎月勤労統計調査」

## 3. 個別部門の動向：企業部門

| 企業活動 | 水準評価 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 基調判断 | 前月比較 | ⇨ | 詳細 | 拡大している |

**≪現状≫**

○企業の生産活動は、拡大している。

○8月の鉱工業生産指数は、前年比＋43.6%と12か月連続の上昇（図表9）。業種別にみると、旺盛な半導体関連需要を背景に、電子部品・デバイス工業（同＋221.6%）が10か月連続で上昇し、全体を押し上げ。このほか、汎用・生産用・業務用機械工業（同＋9.6%）等も上昇。

**≪見通し≫**

○2026年6月に公表された世界半導体市場統計によれば、2026年度の半導体世界市場は前年比約＋90%と過去最高を大きく上回る水準で成長する見込み。旺盛な需要を背景に、キオクシアとサンディスクが日本で2032年までに総額約5兆円の投資を見込むなど、半導体を中心に、先行きの生産は拡大が続く見通し。

○シンフォニアテクノロジー（東京都港区）は伊勢市の伊勢製作所内に約120億円を投資して新たな工場を建設し、航空・防衛分野の需要増加に向けて航空宇宙機器の生産体制を強化する。2027年1月に稼働し、月間生産能力を250億円から400億円に引き上げる。

**◆8月 鉱工業生産指数＜2020年=100＞**

○ 130.4　　前年比　＋43.6%　　（12か月連続の上昇）

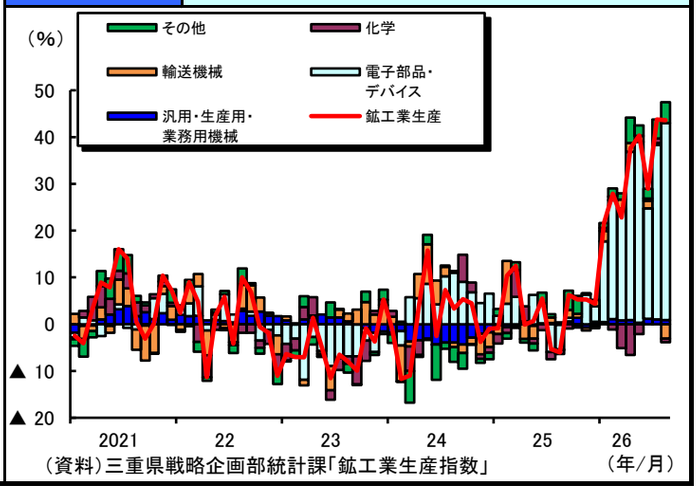
・汎用・生産用・業務用機械工業
　前年比　＋9.6%　　（9か月連続の上昇）

・電子部品・デバイス工業
　前年比　＋221.6%　　（10か月連続の上昇）

・輸送機械工業
　前年比　▲20.8%　　（9か月ぶりの低下）

・化学工業
　前年比　▲4.4%　　（3か月ぶりの低下）

**図表9　鉱工業生産指数＜前年比＞**




（資料）三重県戦略企画部統計課「鉱工業生産指数」

| 企業倒産 | 水準評価 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 基調判断 | 前月比較 | ⇨ | 詳細 | 悪化しつつある |

**≪現状≫**

○企業倒産は、悪化しつつある。

○9月の県下倒産状況（負債総額1,000万円以上）をみると、件数は11件（前年比▲1件）と2か月ぶりの減少。負債総額は5,879百万円（前年差＋5,388百万円）と3か月ぶりの増加（図表10）。六石ゴルフ倶楽部の倒産（負債総額約5,600百万円）が主因。

**≪見通し≫**

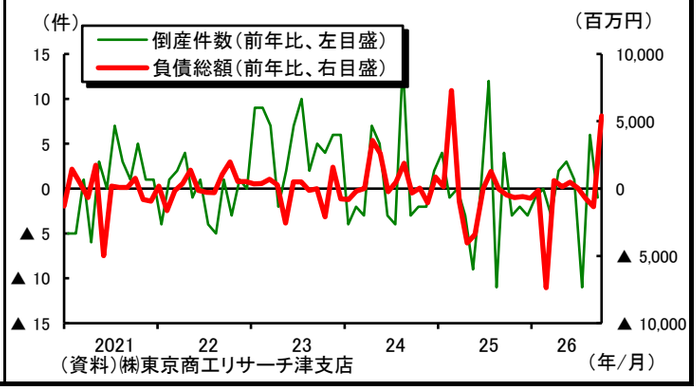
○中小企業の経営環境は、人件費の上昇や、中東情勢の不安定化に伴うエネルギー価格の高騰や原材料不足、金利の上昇等を受けて厳しさを増しており、企業倒産は悪化が続く懸念も。

**◆9月 企業倒産**

○ 倒産件数　11件
　前年比　▲1件　　（2か月ぶりの減少）

○ 負債総額　5,879百万円
　前年比　＋5,388百万円　　（3か月ぶりの増加）

**図表10　倒産件数・負債総額＜負債総額1,000万円以上＞**




（資料）㈱東京商工リサーチ津支店

| 設備投資 | 水準評価 | | |
|---|---|---|---|
| | 基調判断 | 前月比較 | ⇨ |

詳細：足踏み

**≪現状≫**

○企業の設備投資は、足踏み。

○8月の民間非居住建築物着工床面積は、48千㎡（前年比＋23.2%）と5か月ぶりの増加。9月の貨物車登録台数（除く軽）は、455台（同＋1.6%）と4か月連続の増加（図表11）。

**≪見通し≫**

○ライジング（大阪市）は約23億円を投資し、松阪市のウッドピア松阪北地区産業用地に第二松阪工場を新設予定。ロボットによる自動搬送やAI技術を活用した製品検査など、最新技術を活用する。2026年8月に着工し、2028年1月の操業開始を目指す。金額ベースの生産能力は従来のおよそ1.5倍となる見通し。

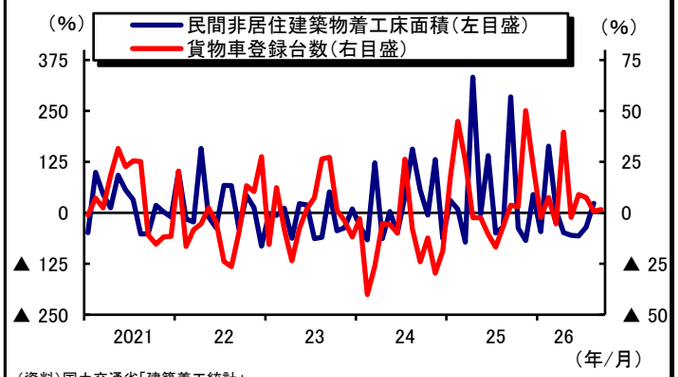
**◆8月 民間非居住建築物着工床面積**

○ 48千㎡　前年比 ＋23.2%　（5か月ぶりの増加）

**◆9月 貨物車登録台数**

○ 455台　前年比 ＋1.6%　（4か月連続の増加）

**図表11 設備投資関連指標＜前年比＞**




（資料）国土交通省「建築着工統計」、
日本自動車販売協会連合会三重県支部「新車登録台数」

## 4. 個別部門の動向：海外部門

| 輸出 | 水準評価 | | |
|---|---|---|---|
| | 基調判断 | 前月比較 | ⇗ |

詳細：持ち直している

**≪現状≫**

○輸出は、持ち直している。

○9月の四日市港通関輸出額は、1,127億円（前年比＋36.5%）となり、8か月連続の増加（図表12）。品目別にみると自動車の部分品（同▲19.6%）等が減少した一方、石油製品（同4.4倍）や乗用車（同＋53.7%）等が牽引。

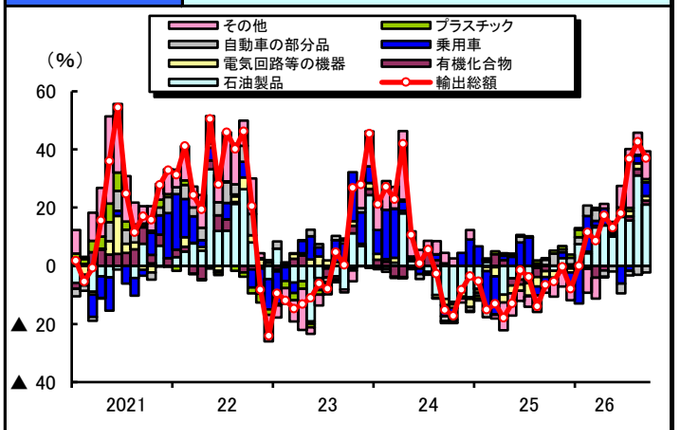
**≪見通し≫**

○先行き、堅調な需要に支えられて半導体関連を中心に緩やかに持ち直す見通し。中東情勢が不安定な状態で推移する中、再び原油価格の高騰や物価上昇が深刻化した場合、世界経済の押し下げに伴って輸出が下押しされる懸念も。

**◆9月 四日市港通関輸出額**

| | | | |
|---|---|---|---|
| ○ 1,127億円 | 前年比 | ＋36.5% | （8か月連続の増加） |
| ・石油製品 | | 225億円 | |
| | 前年比 | 4.4倍 | （9か月連続の増加） |
| ・有機化合物 | | 66億円 | |
| | 前年比 | ＋19.7% | （3か月連続の増加） |
| ・電気回路等の機器 | | 69億円 | |
| | 前年比 | ＋24.8% | （7か月連続の増加） |
| ・乗用車 | | 110億円 | |
| | 前年比 | ＋53.7% | （2か月連続の増加） |
| ・自動車の部分品 | | 80億円 | |
| | 前年比 | ▲19.6% | （6か月連続の減少） |
| ・プラスチック | | 60億円 | |
| | 前年比 | ＋18.1% | （5か月連続の増加） |

**図表12 四日市港通関輸出額＜前年比＞**




（資料）名古屋税関四日市支署「管内貿易概況」

## 5. 個別部門の動向：公共部門

| 公共投資 | 水準評価 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 基調判断 | 前月比較 | ⇨ | 詳細 | 持ち直しつつある |

**≪現状≫**

○公共投資は、持ち直しつつある。

○9月の公共工事請負状況をみると、請負件数は492件（前年比▲1.0%）と2か月連続の減少。請負金額は492億円（同＋123.4%）と2か月ぶりの増加（図表13）。請負金額を発注者別にみると、国（同＋27.0%）、独立行政法人等（同159倍）、県（同＋33.0%）、市町（同＋7.8%）でそれぞれ増加。

**≪見通し≫**

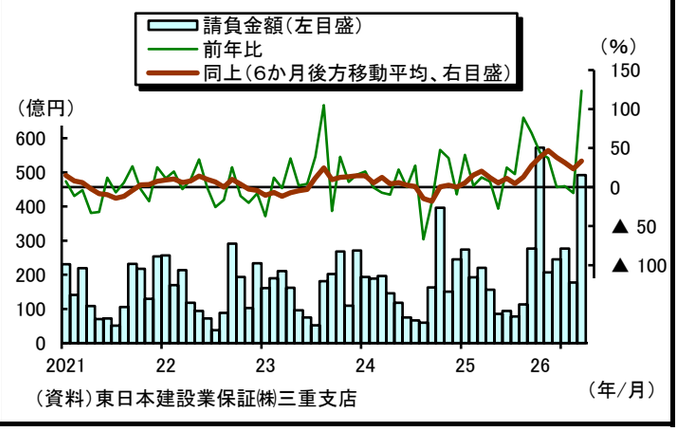
○9月28日、三重県の令和8年度9月補正予算が成立。物価高騰の影響を受けた医療機関や私立学校などの事業者を支援するほか、台風6号の被害に伴う復旧費用などとして一般会計に16.9億円を追加する。

**◆9月 公共投資**

○ 公共工事請負件数 492件
前年比 ▲1.0% （2か月連続の減少）

○ 公共工事請負金額 492億円
前年比 ＋123.4% （2か月ぶりの増加）

**図表13 公共工事請負金額**




（資料）東日本建設業保証㈱三重支店

## 6. 個別部門の動向：その他

| 物価 | 水準評価 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 基調判断 | 前月比較 | ⇨ | 詳細 | 伸びが鈍化している |

**≪現状≫**

○物価は、伸びが鈍化している。

○9月の津市消費者物価指数（生鮮食品を除く）は前年比＋1.9%と56か月連続の上昇（図表14）。住居費（同▲1.2%）は低下傾向にあるものの、生鮮食品を除く食料（同＋3.7%）等が押し上げに寄与。

**≪見通し≫**

○米などの食料品価格上昇の影響が減衰していくもとで消費者物価（生鮮食品を除く）は低下傾向で推移していく見通し。もっとも、原油価格の高騰が時間差で波及していく可能性があり、今後の物価動向には注意が必要。

**◆9月 消費者物価指数＜生鮮食品を除く、2025年=100＞**

○ 102.2 前年比 ＋1.9% （56か月連続の上昇）

・食料（生鮮食品を除く）
前年比 ＋3.7% （62か月連続の上昇）

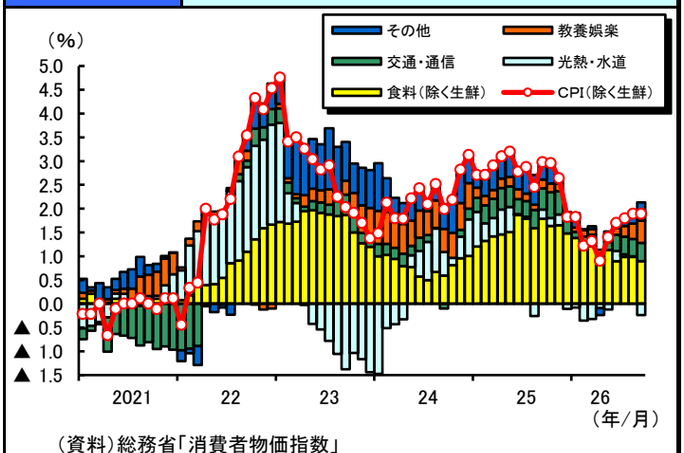
・住居
前年比 ▲1.2% （12か月連続の下落）

・光熱・水道
前年比 ▲3.3% （4か月ぶりの下落）

・交通・通信
前年比 ＋2.5% （23か月連続の上昇）

・教養娯楽
前年比 ＋5.0% （45か月連続の上昇）

**図表14 津市消費者物価指数＜前年比＞**




（資料）総務省「消費者物価指数」

# 県内経済トピックス（2026年9月）

## 1. いなべ市梅林公園に新施設「あわい」オープン

○9月４日、いなべ市に「いなべ市梅林公園あわい」がオープン。既存の梅林公園の一部を再整備し、宿泊棟・キャンプサイト・食事処・ショップなど、様々な設備を備えた複合施設となる。

○梅林公園は約50品種・2,000本以上の梅が植栽されている。見頃となる2月下旬～3月中旬に観光客で賑わっていたが、再整備によって年間を通じて楽しむことができる公園として生まれ変わらせる狙い。

○施設は指定管理者として一般社団法人グリーンクリエイティブいなべが運営。一橋俊介総支配人は「自然と人との接点を演出して魅力的な施設にしたい」とコメント。

## 2. 浸水した四日市市の地下駐車場　公共駐車場として営業再開の見通し

○9月28日、四日市市議会予算委員会は、昨年9月12日の大雨で浸水した地下駐車場「くすの木パーキング」を同市が取得する費用を計上した一般会計補正予算案を可決。総額約40億円をかけて復旧を進め、公共駐車場として営業を再開する見通し。

○浸水で使用不能となっていた同駐車場のうち、市道地下部分は運営者の破産手続きにより対応が遅れていた。市は10月２日の本会議で関連議案を賛成多数で可決。今後、11月議会に取得契約の議案を提案する予定。

○復旧総額の約40億円について、市は40年間の耐用年数内で回収が可能との説明を行っている。

## 3. 三重県人口　2040年に150万人を切る可能性

○9月29日、三重県は将来人口を独自推計した「県人口ビジョン」の最終案を策定。若い世代の県外転出などの改善が進んだ場合、2040年の県人口は約152万人となる見通しを示した。一方、出生率が改善されなかった場合は約147万人と、150万人を切る見込み。

○市町別では、川越町・朝日町以外の27市町が2020年対比で減少すると推計。
地域別では、東紀州地域が同▲35.4%、南勢地域が同▲26.4%、伊賀地域が▲20.9%、中勢地域が同▲14.9%、北勢地域が同▲8.6%、それぞれ減少する見通し。

○一見勝之知事は「人口がどんどん減っていくという推計がある中で、県の活力が落ちないやり方を提案していってほしい」と発言。

以 上

# 景　気　指　標

三十三総研
2026/10/29

## ＜三重県＞

(注)(　)内は前年(同期(月))比　＜　＞内は季節調整済前期(月)比

| | 2024年 | 2025年 | 2025年 | 2026年 | | | 2026年 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 10～12月 | 1～3月 | 4～6月 | 7～9月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 |
| 大型小売店販売額(全店) | ( 0.7) | ( 2.3) | ( 2.2) | ( 2.3) | ( 0.9) | | ( 3.8) | (▲ 2.4) | ( 0.8) | ( 1.4) | |
| 同　(既存店) | ( 1.1) | ( 1.5) | ( 1.0) | ( 0.8) | ( 0.2) | | ( 3.5) | (▲ 2.6) | ( 0.5) | ( 1.1) | |
| 新車販売台数(軽を除く、台) | 54,634 | 53,830 | 12,917 | 13,096 | 13,630 | 13,822 | 3,692 | 5,056 | 4,997 | 3,593 | 5,232 |
| | (▲ 0.3) | (▲ 1.5) | (▲ 3.4) | ( 0.2) | ( 15.1) | ( 7.0) | ( 1.5) | ( 12.5) | ( 8.3) | ( 4.6) | ( 7.5) |
| うち乗用車販売台数(台) | 48,294 | 47,663 | 11,421 | 11,491 | 12,245 | 12,311 | 3,295 | 4,561 | 4,468 | 3,152 | 4,691 |
| | (▲ 0.4) | (▲ 1.3) | (▲ 3.1) | (▲ 2.2) | ( 14.9) | ( 7.8) | ( 2.1) | ( 12.6) | ( 8.9) | ( 5.3) | ( 8.4) |
| 新車軽自動車販売台数(台) | 34,947 | 37,882 | 9,482 | 9,478 | 8,539 | 9,507 | 2,685 | 3,217 | 3,210 | 2,318 | 3,979 |
| | (▲ 12.0) | ( 8.4) | (▲ 1.7) | ( 6.4) | ( 1.6) | ( 0.3) | ( 3.5) | ( 7.5) | ( 1.4) | (▲ 10.2) | ( 6.6) |
| うち乗用車販売台数(台) | 27,595 | 30,379 | 7,506 | 7,498 | 6,696 | 7,558 | 2,082 | 2,535 | 2,574 | 1,804 | 3,180 |
| | (▲ 11.1) | ( 10.1) | (▲ 1.9) | ( 8.4) | ( 1.4) | ( 0.7) | ( 1.7) | ( 8.7) | ( 6.7) | (▲ 13.1) | ( 5.4) |
| 新設住宅着工戸数(戸) | 7,751 | 7,342 | 1,727 | 1,839 | 1,847 | | 695 | 603 | 847 | 599 | |
| | (▲ 16.0) | (▲ 5.3) | (▲ 17.6) | ( 2.0) | ( 15.9) | | ( 3.9) | ( 28.3) | ( 28.5) | ( 12.2) | |
| 県内施設延べ宿泊者数(千人泊) | 8,692 | 9,329 | 2,539 | 2,477 | 2,043 | | 789 | 529 | 766 | | |
| | ( 21.1) | ( 7.3) | ( 8.0) | ( 9.0) | (▲ 6.5) | | (▲ 6.1) | (▲ 12.3) | (▲ 6.4) | | |
| 有効求人倍率(季調済) | 1.17 | 1.16 | 1.16 | 1.18 | 1.20 | | 1.20 | 1.22 | 1.19 | 1.20 | |
| 新規求人倍率(季調済) | 1.95 | 2.00 | 2.02 | 1.94 | 2.01 | | 2.07 | 1.99 | 2.03 | 2.11 | |
| 新規求人数(学卒･ﾊﾟｰﾄ除く、人) | 74,467 | 76,049 | 19,011 | 19,511 | 19,108 | | 5,966 | 6,309 | 6,925 | 6,315 | |
| | (▲ 5.6) | ( 2.1) | ( 3.7) | ( 6.1) | ( 5.4) | | ( 2.4) | ( 8.7) | ( 1.3) | ( 10.8) | |
| 名目賃金指数(調査産業計) | ( 4.5) | ( 0.1) | ( 4.1) | ( 2.2) | ( 8.0) | | ( 5.1) | ( 11.3) | (▲ 2.3) | | |
| 実質賃金指数(同) | ( 1.3) | (▲ 0.2) | ( 0.9) | (▲ 0.6) | ( 6.2) | | ( 3.5) | ( 8.9) | (▲ 4.6) | | |
| 所定外労働時間(同) | ( 2.2) | ( 3.9) | ( 2.6) | ( 1.5) | ( 6.9) | | ( 7.9) | ( 8.4) | ( 2.8) | | |
| 常用雇用指数(同) | ( 1.9) | ( 0.1) | ( 0.3) | ( 0.3) | ( 0.3) | | ( 0.1) | ( 0.7) | ( 0.4) | | |
| 鉱工業生産指数 | ( 0.2) | ( 3.1) | (▲ 1.6) | ( 5.0) | ( 35.5) | | ( 40.3) | ( 28.9) | ( 43.8) | ( 43.6) | |
| | － | | 〈▲ 5.2〉 | 〈 4.6〉 | 〈 15.6〉 | | 〈 18.1〉 | 〈▲ 20.1〉 | 〈 6.1〉 | 〈 3.5〉 | |
| 生産者製品在庫指数 | (▲ 8.9) | ( 5.5) | ( 7.0) | ( 3.5) | (▲ 13.2) | | (▲ 15.1) | (▲ 19.0) | (▲ 9.1) | (▲ 7.2) | |
| | － | | 〈▲ 1.4〉 | 〈▲ 2.8〉 | 〈▲ 6.4〉 | | 〈▲ 3.4〉 | 〈▲ 8.3〉 | 〈 11.5〉 | 〈▲ 0.2〉 | |
| 企業倒産件数(件) | 135 | 123 | 43 | 28 | 25 | 37 | 6 | 10 | 13 | 13 | 11 |
| (前年同期(月)比)(件) | ( 5) | (▲ 12) | ( 5) | (▲ 8) | ( 6) | (▲ 6) | ( 3) | ( 1) | (▲ 11) | ( 6) | (▲ 1) |
| 民間非居住建築物着工床面積(千㎡) | 574 | 698 | 305 | 72 | 107 | | 26 | 31 | 21 | 48 | |
| | ( 3.8) | ( 21.7) | ( 66.1) | (▲ 46.7) | (▲ 53.0) | | (▲ 54.8) | (▲ 57.0) | (▲ 35.4) | ( 23.2) | |
| 県内外国貿易　純輸出(百万円) | ▲ 1,294,042 | ▲ 1,264,040 | ▲ 227,417 | ▲ 279,253 | ▲ 264,114 | ▲ 473,625 | ▲ 105,425 | ▲ 104,239 | ▲ 187,690 | ▲ 141,107 | ▲ 144,828 |
| 輸出(百万円) | 1,133,799 | 1,153,636 | 269,425 | 297,963 | 313,450 | 341,005 | 86,809 | 103,820 | 123,082 | 104,742 | 113,181 |
| | ( 0.8) | ( 1.7) | (▲ 1.2) | (▲ 2.6) | ( 15.7) | ( 26.6) | ( 13.3) | ( 4.5) | ( 21.3) | ( 42.6) | ( 19.8) |
| 四日市港 輸出(百万円) | 1,091,240 | 1,111,102 | 245,955 | 286,433 | 287,468 | 327,063 | 86,683 | 103,348 | 109,614 | 104,705 | 112,745 |
| | ( 1.4) | ( 1.8) | (▲ 8.0) | (▲ 4.7) | ( 16.3) | ( 33.0) | ( 13.1) | ( 18.0) | ( 21.9) | ( 42.6) | ( 36.5) |
| 輸入(百万円) | 2,427,841 | 2,417,676 | 496,842 | 577,215 | 577,563 | 814,630 | 192,054 | 208,059 | 310,772 | 245,849 | 258,009 |
| | (▲ 0.9) | (▲ 0.4) | (▲ 23.8) | (▲ 6.9) | ( 17.2) | ( 64.0) | ( 41.0) | ( 47.4) | ( 117.2) | ( 47.4) | ( 38.0) |
| 公共工事請負金額(億円) | 2,004 | 2,105 | 687 | 336 | 1,024 | 948 | 207 | 245 | 277 | 178 | 492 |
| | ( 8.7) | ( 5.1) | ( 18.6) | (▲ 1.0) | ( 29.3) | ( 38.0) | ( 37.3) | ( 0.0) | ( 1.2) | (▲ 7.5) | ( 123.4) |
| 津市消費者物価指数 | ( 2.5) | ( 0.3) | ( 2.9) | ( 2.4) | ( 1.4) | ( 1.9) | ( 1.5) | ( 1.7) | ( 2.0) | ( 1.9) | ( 1.9) |
| 同　(除く生鮮) | ( 2.2) | ( 0.2) | ( 2.8) | ( 2.5) | ( 1.3) | ( 1.9) | ( 1.4) | ( 1.7) | ( 1.8) | ( 1.9) | ( 1.9) |

## ＜東海3県(三重･愛知･岐阜)＞

| | 2024年 | 2025年 | 2025年 | 2026年 | | | 2026年 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 10～12月 | 1～3月 | 4～6月 | 7～9月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 |
| 大型小売店販売額(全店) | ( 2.7) | ( 2.5) | ( 3.9) | ( 2.6) | (▲ 0.2) | | ( 3.0) | (▲ 3.4) | (▲ 1.8) | (▲ 1.4) | |
| 同　(既存店) | ( 3.2) | ( 2.4) | ( 3.3) | ( 2.7) | ( 1.6) | | ( 4.8) | (▲ 1.5) | ( 0.3) | ( 0.0) | |
| 新設住宅着工戸数(戸) | 72,757 | 66,986 | 17,294 | 15,978 | 17,313 | | 5,662 | 5,704 | 5,813 | 6,297 | |
| | (▲ 1.0) | (▲ 7.9) | (▲ 3.3) | (▲ 13.8) | ( 26.7) | | ( 28.9) | ( 7.0) | (▲ 5.7) | ( 8.8) | |
| 有効求人倍率(季調済) | 1.31 | 1.28 | 1.26 | 1.24 | 1.25 | | 1.26 | 1.26 | 1.26 | 1.24 | |
| 新規求人倍率(季調済) | 2.35 | 2.33 | 2.25 | 2.22 | 2.29 | | 2.35 | 2.26 | 2.33 | 2.23 | |
| 鉱工業生産指数 | (▲ 2.8) | ( 2.0) | (▲ 0.8) | ( 4.8) | ( 11.4) | | ( 11.3) | ( 13.4) | ( 13.8) | ( 13.4) | |
| | － | － | 〈 1.3〉 | 〈 5.6〉 | 〈 5.2〉 | | 〈 9.8〉 | 〈▲ 7.3〉 | 〈 2.4〉 | 〈 0.8〉 | |
| 企業倒産件数(件) | 868 | 916 | 224 | 251 | 234 | 258 | 65 | 104 | 108 | 76 | 74 |
| (前年同期(月)比)(件) | ( 69) | ( 48) | ( 1) | ( 31) | ( 25) | (▲ 5) | (▲ 3) | ( 29) | ( 6) | (▲ 1) | (▲ 10) |
| 域内外国貿易　純輸出(億円) | 99,393 | 101,373 | 29,399 | 24,505 | 26,675 | 24,525 | 7,557 | 9,494 | 8,728 | 5,947 | 9,850 |
| 輸出(億円) | 225,311 | 228,849 | 61,052 | 58,275 | 62,615 | 66,459 | 18,835 | 22,440 | 23,834 | 19,243 | 23,383 |
| | ( 6.0) | ( 1.6) | ( 1.2) | ( 2.9) | ( 13.1) | ( 19.0) | ( 13.4) | ( 18.5) | ( 20.7) | ( 16.7) | ( 19.3) |
| 輸入(億円) | 125,918 | 127,476 | 31,653 | 33,770 | 35,940 | 41,934 | 11,278 | 12,946 | 15,106 | 13,295 | 13,533 |
| | ( 1.8) | ( 1.2) | (▲ 1.5) | ( 1.4) | ( 16.4) | ( 32.6) | ( 10.2) | ( 31.0) | ( 42.7) | ( 34.8) | ( 21.0) |

：各指標における直近の数値